

旧高士スポーツ広場を活用して 地域活性化に役立てよう



次ページへ続く

新年のご挨拶



高士区民の皆様、明けましておめでとうございます。

上町台地の一角に建設された旧高士中学校跡地が、ようやく昨年11月に更地化され整備されました。この上町台地は多くの高士区民の皆様が多感な青春時代を過ごした思い出の台地です。

また、上町には古代の律令制行政単位である頸城郡支配層の家屋敷の存在が想定され、また戦国時代の高津城(寺館城)跡や、更に江戸時代まで続いた高津郷の役所敷地跡の存在も認められる由緒ある台地でもあります。

高士区地域協議会は、この旧高士中学校跡地の更地化整備を機会に、永年温めてきた「若者世代が住みたくなる明るく健やかな住み良いまちづくり」をコンセプトとする「高士区民が集い合える場所づくり」に、この旧高士中学校跡地を有効利用したいものと考えております。この実現に向け区民の皆様のご協力とご支援を心よりお願いいたします。

長引く新型コロナ禍と厳しい寒波の中で迎えた新年となりましたが、今年こそ良い年になりますよう、区民の皆様のご健勝と益々のご発展を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



高士区地域協議会
会長 青木 正紘

地域協議会の しごと①

・身近な地域の課題や活性化のための話し合い（自主的審議）

地域協議会では、区内で活動している団体に協力・連携を求めるほか、市長に意見書を提出し、市政での実現を求めていくための話し合いが行われています。

■地域の皆様と意見交換会を開催しました（10/1）

10月には「旧高士スポーツ広場の活用を話し合う会」と題して、地域の団体や住民の皆さんとの意見交換会を開催しました。

様々なアイデアを頂き、8月の町内会長との意見交換と合わせて、約30通りの活用方法が提案されました。



▼地域の皆様から頂いたご意見やアイデア

思い	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に思い入れのある場所 ・中学校があったことが忘れられている など
検討方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市から情報発信し、区外の方からも活用策を提案してもらう ・高士区外の周辺住民とも意見交換 など
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・水道や電気、トイレ等のライフラインの整備 ・財政支援 ・設備の整った施設を作っても利用が少数に留まる可能性 ・維持管理に手がかからないように など
活用策	<ul style="list-style-type: none"> 【広場・公園】 ・子どもや近隣地区の方が利用できる芝生のある公園 ・正善寺ダムのようなあじさい畑や、桜の木を植えて花見ができる場所 ・ドローンの練習場として開放 【イベント・活動】 ・年に1回の祭り ・健康寿命を延ばす活動 ・遺跡がある歴史的な場所としての活用 【施設】 ・人工芝のサッカー場 ・専門学校 ・飲食店やヨガ教室など、好きなことに利用できるレンタルスペース 【その他】 ・企業とのタイアップ など



これまでの意見交換を振り返って（11/8）

約30通の
提案！

11月の会議では、活用の実現に向けた話し合いを始めました。

しかし、整備にかかる費用や、活動主体となる団体など、悩みの種は多くあります。

そうした実現方法に関する不安を各委員が打ち明け、次回会議で改めて「自主的審議の実現方法」について勉強することにしました。



▲町内会長との意見交換会の様子
(令和3年8月25日)

どうやったら実現できるのかな？



自主的審議の実現方法について勉強しました（12/8）

自主的審議の実現方法

- ①地域内で活動
- ②地域活動支援事業を活用
- ③元気事業を活用
- ④市長へ意見書を提出

12月の会議では、自主的審議の実現方法には、大きく分けて4通りの方法（左図）があることを、改めて学びました。

また、他区の事例として、諏訪区での移住促進団体の立ち上げや、頸城区の観光協会設立などを学び、今後のヒントを得ることができました。

他区の実現事例

①地域内で活動



▲移住促進諏訪の会

③元気事業を活用



▲頸城区観光協会

高士でもいろいろな実現方法が考えられるね！



高士区の活性化のため今後も引き続き検討していきます。
皆様のご関心・ご協力をよろしくお願いいたします！

地域協議会の しごと②

・まちづくり活動を補助する 「地域活動支援事業」の採択

今年度は9件の事業を採択しました。その中から2件の活動を紹介します。



だんとうの大杉

大杉の保存のため、樹木医の指導のもと治療を行いました。



保存整備で発生する木材で記念品の作成を考えています。
アイデア募集中！



※イメージ

男の料理教室



月ごとにテーマを変えて、色々な高士の食材を使った料理に挑戦しています。



12月は岩の原葡萄園の方からワインの歴史などを学び、赤ワインに合う家庭料理を作りました。



■高士ルミネの準備状況について説明を受けました

高士地区雪まつり実行委員会より、コロナ禍での開催の工夫や、花火の打ち上げ場所の変更などについて説明いただきました。

説明を受け、地域協議会委員からは、「後片付けにもボランティアを集めて、実行委員会の負担を軽くできないか。」など、労いの発言がありました。



▲地域協議会で説明する塚田実行委員長
(令和3年12月8日)

お問い合わせ先 <庁舎を移転しました>

上越市 中部まちづくりセンター (上越市木田1-1-3 木田第2庁舎 3階)
TEL: 526-1690 / FAX: 520-5853 / E-mail: chubu-machi@city.joetsu.lg.jp